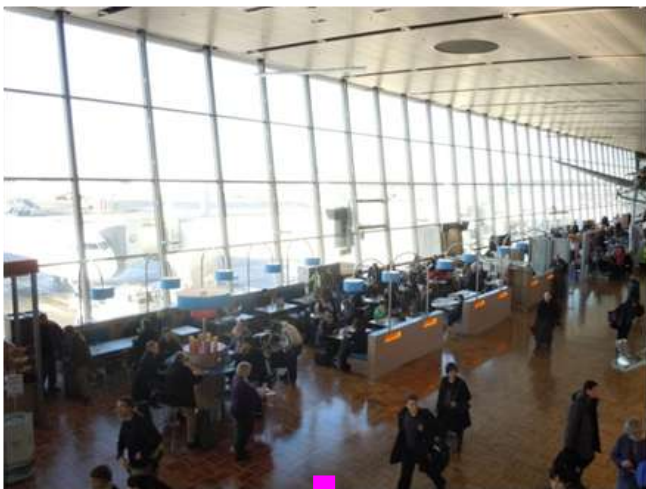


齋藤です。

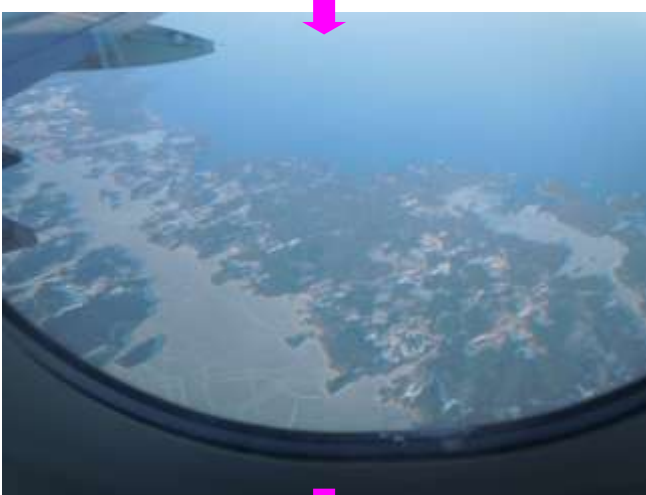
カロリンスカに来て約2週間が経ちますが、こちらの近況を報告させていただきます。

出発～到着後3日

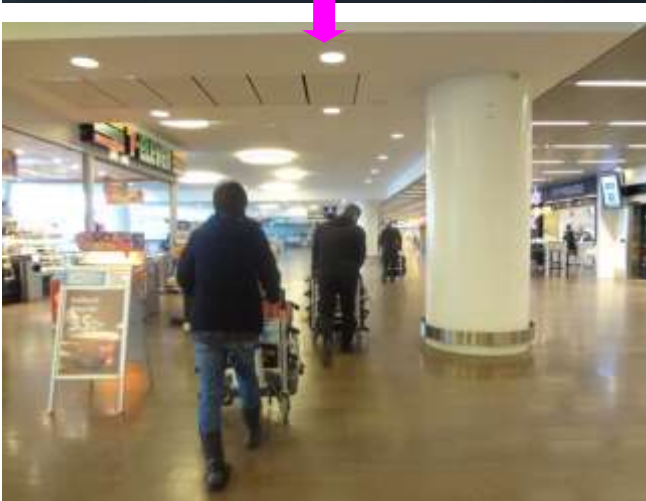
関空からフィンエアーで約10時間かけて、フィンランドのヘルシンキ国際空港に到着。ただ、乗継時間が約50分と、笑いゼロの乗継でした。そこから、約1時間の飛行で、関空から計12時間でストックホルム・アーランド空港に到着です。



ヘルシンキ国際空港
(フィンランド)



上空から見た
スカンジナビア半島



アーランド空港
(ストックホルム)

計5個のトランクケースをかかえ、タクシーで約50分、我が家に到着。
病院に歩いて5分、ストックホルムまでは電車で15分、移民が多い町、Flemingsberg
という町です。
今でこそ、治安はまあまあだそうですが、昔はよく麻薬の売買が行われていた町で、今
も夜はパトカーのパトロールを頻回に目撃します(苦笑)

到着後は、荷物の整理、部屋の掃除、日常品の買い物などに追われました。
IKEAには3日連続通ってしまいました。
前に住んでいた住人が、エジプト人であり、要所要所にイスラム色が散りばめられてお
り、難渋しました↓↓

到着翌日は、大雪で、当たり一面が雪景色へと変わり、お湯が出ること、部屋があつた
かいこと、電気がつくこと、それだけで本当に感激でした(泣)



我がマンション



IKEAで買った
お気に入りの電気！！



到着翌日は大雪

仕事開始

4/16(月)~カロリンスカ移植外科での仕事が始まりました。
さっそく病棟業務です。こちらの病棟では

- ✓ 病棟患者(肝移植後、肝細胞移植後、腎移植後、肝切後)計20人程度
- ✓ 肝移植患者は平均2週間で退院
- ✓ 医者は腎グループ・肝グループのどちらかに所属
- ✓ 病棟担当医は毎週ごとに交代
- ✓ 看護婦さんと医者合同の申し送りが毎日、朝夕2回
各患者担当看護婦さんと個別にカンファしています
一緒に電子カルテを見ながら、採血結果・画像所見・検温表を見ながら
お互いの意見をぶつけ合うスタイル
- ✓ 会話・電子カルテは全てスウェーデン語
- ✓ 血液検査の単位が日本と全く違う
- ✓ 注射オーダーや内服オーダーが移植患者用に作成されており、非常に
定型化されている
- ✓ ルート取りは看護婦さんが、CVは麻酔科が、腹腔及び胸腔穿刺が放射線科が、
ICU管理はICUの医者が担当(移植後エコーもなんとICU医者が担当)
→日本の外科医の仕事をして、別の人が担当している。
- ✓ 術後免疫グロブリン、アルブミンをかなりの頻度で躊躇なく使っている
- ✓ 鎮痛剤は基本NSAIDsは使わずに、オピオイド系がほとんど。

他にも日本と違ったスタイルが山ほどありますが、きりがないので止めておきます。

何よりもやっぱり言語に苦しんでいます。

患者さんの訴え、看護婦さんの希望、治療方針の会話を真の意味で理解しないと
なかなか、認めてもらえない印象です。

病棟で同じく働いている、山本先生はスウェーデン在住8年目とのことで、スウェーデン語も
ペラペラで、海外で長期間臨床をされていることもあり、経験豊かです。

色々ご指導いただいておりますが、なるべく英語で会話するようにして下さったりと
本当にお世話になっています。

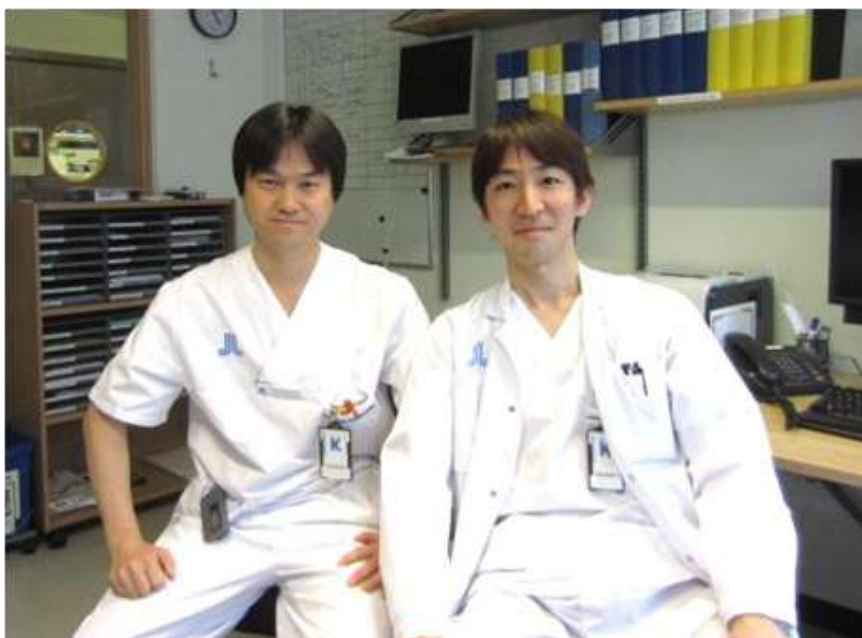
いいお手本として、色々学びたいと思っています。



カロリンスカ医科大学病院



病棟でのカンファ



山本先生と

まだ、始まったばかりで、慣れないことだらけですが、定期的に近況を報告させていただきます。